

建設業の力を 活かした地方創生



〔建設経営サービス提携講師〕
慶応義塾大学 先端研究センター
特任教授 米田 雅子 氏

地域建設企業には3つの重要な役割があり、
「インフラの町医者」
として期待されています

地域の建設業は住宅・社会資本整備の直接的な担い手だけではなく、地域づくりの中核として多種多様な役割を担っています。災害発生時には地域住民にとって頼りになる存在です。また、従来の枠組みにとらわれず、地域のニーズに目を向けて、業種をこえて地域で活躍する企業も多くあります。

地域格差が広がり、人口減少が続く中で、地方創生が我が国の重要な課題となっています。建設業の力を活かした地方創生について、地域建設企業の取組事例を紹介しながら、その可能性と課題について述べます。みなさまのご参加をお待ちしております。

- 日 時 平成28年 2月10日(水) 18時30時～20時
- 会 場 丹後・知恵ものづくりパーク研修室 (峰山町荒山225)
- 定 員 50名 (先着順、定員になり次第締め切らせていただきます)
- 締 切 2月5日(金)
- 申込方法 裏面の申込書にご記入のうえ、FAXにてお申込下さい

セミナー概要

1. インフラの町医者をめざそう！
2. 地域防災の最前線としての地域建設企業
3. 老朽化する社会インフラを守る
4. 建設業と農林水産業の連携
5. 林建協働と森林再生
6. 農商工連携と地域ブランド創出
7. 過疎地、離島の集落再生の取組み
8. 地方創生のリーダーとして建設トップランナー 10年の取組み



受講料
無料